

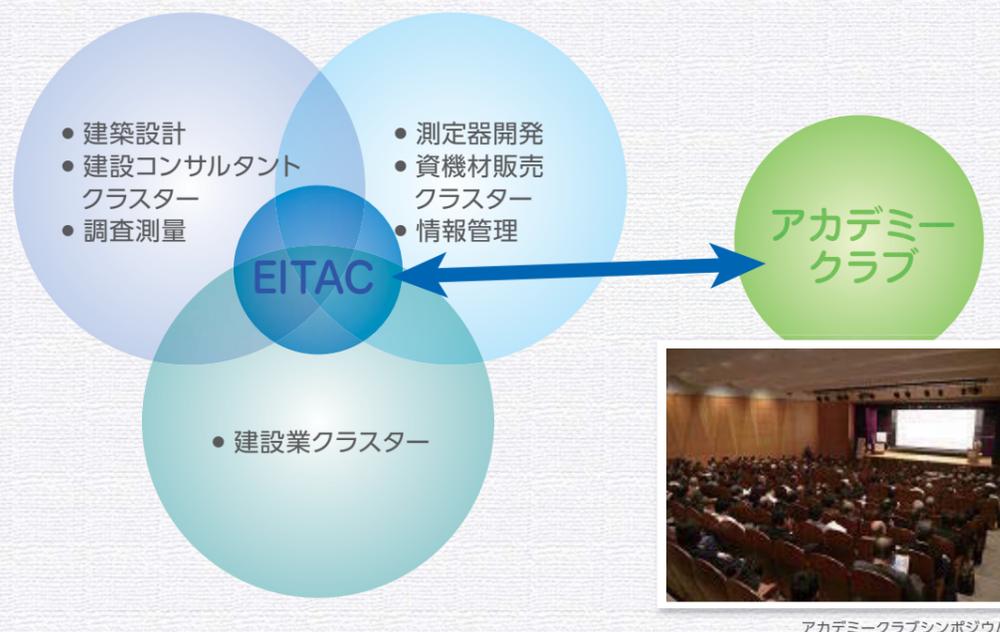
アカデミークラブ(AC)について

目的

- 一般社団法人 弾性波診断技術協会(EITAC)の技術向上と強化。
- 同クラブの業務はEITAC技術委員会を通じ、主として会員からの相談・問い合わせに対応し、解決策又は意見を具申する。
- 業務内容により、有償になる場合もある。

構成

- 陣容は、学識経験者、学外有識者を中心として構成。
- 他の協会、団体との交流も積極的に推進し、有効な技術をEITACへ技術移転させ、有識者による人脈ネットワークを構築。



一般社団法人 弾性波診断技術協会 業務内容のご案内



EITAC

Elastic wave Inspection Technology Association
一般社団法人 弾性波診断技術協会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-25-11 三幸ビル
TEL : 03-6661-2131 FAX : 03-6661-2171

URL : <http://www.eitac.jp>

EITAC

Elastic wave Inspection Technology Association

EITACの目的

EITACは、弾性波を利用した非破壊検査装置による、社会インフラの健全度や品質を把握するための測定技術の向上・普及に努め、その社会的信用の構築を図り、本技術を駆使した事業の発展に寄与することを目的としています。

弾性波診断技術協会からのご挨拶

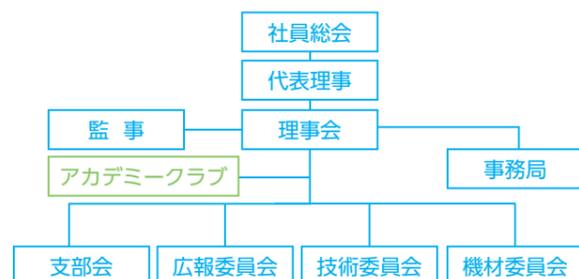
我が国は少子高齢化という社会的背景を受け、大規模な社会インフラの新規構築より、現在あるものを長期間使用していく方向への舵取りが進んでいます。高度経済成長期に建設した社会インフラが徐々に老朽化へ向かっています。供用年数の長い社会インフラは、予期しないときに損傷や破壊が起こる可能性が高くなり、国民の人命や財産に甚大な被害をもたらす恐れがあります。これを防ぐためには、点検、健全度評価、劣化予測を行い、適切な補修・補強などの対策を実施していくことが必要です。EITACは、弾性波診断技術の利用によって、効率的で高精度な点検、健全度評価、劣化予測の実現を目指してまいります。

一般社団法人 弾性波診断技術協会 理事長

EITACの活動

1. 測定装置の認定
2. 測定技術者の養成及び認定
3. 技術・積算に関する調査研究及び資料整理
4. 本技術普及の為に研修・勉強会開催
5. 本技術普及の為に広報・宣伝活動
6. 本技術普及の為に会員募集
7. その他当法人の目的を達成する為に必要な事業

組織図



支部会構成
北海道支部
東日本支部
中部支部
近畿支部
中国支部
四国支部
九州・沖縄支部

認定機器

認定装置第一号 「NST-2」

防護柵等支柱根入れ長さ測定の測定装置
地山補強鉄筋(ロックボルト)
根入れ長さ測定の測定装置
NETIS: KT-060039-VE



認定装置第二号 「JTM-10」

防護柵等支柱根入れ長さ測定の測定装置
地山補強鉄筋(ロックボルト)
根入れ長さ測定の測定装置
NETIS: CB-110028-VR



技術講習会

一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所の協力を受け富士市を始め各地で講習会を開催しております。また、第一線で活躍されている方々を講師としてお招きしております。

認定機器や調査手法に特化

- ・倫理教育
- ・背景、経緯
- ・非破壊試験における基礎知識
- ・調査対象構造物の知識
- ・試験フィールドでの実地教育

理解度の高い講習会が短期間で実施可能
一定の技術者レベルの標準化が図れる

教育制度

- ・超音波根入れ長さ測定技術者教育制度
(鋼製支柱等根入れ長さ測定技術)
- ・附属物スクリーニング調査技術者教育制度
(標識、照明施設等の支柱路面境界部以下の劣化予測の調査技術)



技術者の認定

筆記試験、実技試験を行い、合格した協会加盟企業の受講者へは定期的な更新教育を前提とし、技術者として認定しております。また、技術者としての意識を高める為、現場携帯用の認定証を発行しております。

